

平成29年度 事業報告

わが国の高齢化率（65歳以上の人口割合）は27.3%を超え過去最高になっており、少子化とも相まって若年層を中心とする労働力の減少が懸念されています。国においても、景気回復を最優先にするとともに、少子高齢化対策を重要課題と位置づけ、各種施策をすすめています。激動する海外の動向もあり、明るい兆しはなかなか見えてきません。

美浜町シルバー人材センター（以下当センターという）におきましては、適正就労に努めるとともに、多様化する就業ニーズに対応した就業機会を確保し、提供することにより、会員みなさんが活躍できる就業の推進に努めて参りました。

平成29年度の請負契約金額は54,990千円で、前年度比1,593千円、2.8%の減となりました。内訳は、公共が11,046千円で前年度比1.5%減、民間は43,944千円で前年度比3.1%の減でした。公共は町民グラウンドの草刈りに関する請負が減ったことが減少の理由です。民間では、農漁業に関する請負が減少しています。一方、シルバー派遣事業においては、平成28年度は4事業所への派遣でしたが、新規に3事業所へ派遣し、延人員は1,557人日と24.0%の増、収入金額も5,227千円と10.9%の増になりました。

平成29年度は、平成28年度に引き続き基盤拡大推進事業に取り組み、町広報紙への掲載や口コミなどのほか、町内全世帯へのチラシ配布での広報活動を実施した結果、会員数は前年度と同人数になりました。

しかし団塊世代の会員加入はなかなか進んでいません。そして当センターにとって最も懸念される問題は、年度末会員122名中女性会員が24名しかいないことです。女性会員を増やすためには、女性のできる仕事を増やさなければなりません。この両者は、相乗効果をもたらすものでありますので次年度についても最も重要な施策と位置付けして、取り組みを継続いたします。

目標数値と実績数値の比較

項目	目標数値	実績数値	差
会員数	150名 (内女性35名)	122名 (内女性24名)	△ 28名 (内女性△ 11名)
受託件数	1,800件	1,548件	△ 252件
配分金額	51,600千円	42,996千円	△ 8,604千円
派遣事業	2,000人日	1,557人日	△ 443人日

1 会員の増強と普及啓発

- (1) 当センター広報「会報シルバー美浜」を毎月発行し、会員全員に配布することで、シルバーの活動状況をお知らせし、情報の共有に努めました。
- (2) 町広報10月号に会員募集の記事を掲載するとともに、会員による口コミ等での増強に努めました。また、3月に町内全世帯にチラシを配布し、入会の促進に努めました。その結果11名の入会者がありましたが、家族の介護、体調不良、高齢化、他への就業などにより11名の退会者があり、平成30年3月末時点で男性98名、女性24名で、前年度と同数の122名となりました。

2 就業機会の確保・拡大

町広報10月号に仕事の募集記事を掲載するとともに、3月に町内全世帯にチラシを配布し、仕事の受注拡大を目指しました。また、事務所職員、役員及びワーク委員等により、随時チラシ配布や口コミにより受注拡大を図りました。ワーク委員会においても、2度開催した委員会のなかで、改善策等の協議をしました。

3 シルバー派遣事業の展開

新規事業所から仕事の問い合わせの際、委託請負との比較等、積極的に派遣契約の必要性を説明した結果、3か所の新規派遣事業所の獲得に至りました。

4 安全就業・適正就業

平成29年度は安全・適正就業委員会を3回開催し、安全・適正就業対策事業計画を策定して、安全・適正就業意識の普及啓発や安全就業推進強化キャンペーンを実施しましたが、傷害事故2件、損害賠償事故4件が発生しました。

当センターの安全・適正就業委員会委員により、6月に駐輪場管理業務、7月に草刈り業務、8月と11月に草刈り及び剪定業務の点検パトロールを行い、各業務での安全対策等のチェックをしました。

5 地域に貢献するセンター

地域貢献活動の一環として2回のボランティア活動を実施しました。1回目は10月に、河和小学校敷地内樹木の剪定・刈込、片づけ作業を32名の参加で行いました。2回目は2月に、河和中学校敷地内樹木の剪定・刈込、片づけ作業を32名の参加で行いました。大変綺麗になり、感謝の言葉を頂きました。

事務事業の経過、事業実績、会員状況については、次のとおりです。